

来週の「売り物記事」はこれ



2018年9月7日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

「希望」を届けるために弾く

脳性まひのバイオリニスト

9日（日）



今春、脳性まひの障害を持つバイオリニストの式町水晶（みずき）さん（21）がメジャーデビューしました。音楽の力で希望を届けたいという式町さんですが、かつては「バイオリンを武器に健常者を見返してやる」と思っていたそうです。

ところが東日本大震災を機に生き方も弾き方も変わりました。数々の出会いを通してオンリーワンの花を咲かせた若者

の成長を描きます。

筆者は統合デジタル取材センターの中村かさね記者です。



日本選手の快挙に期待

テニス全米オープン男女シングルス決勝

スポーツ面など 9日（日）～11日（火）

テニス4大会の今季最終戦「全米オープン」の女子シングルス決勝が8日（日本時間9日）に行われ、大坂なおみが男女を通じて日本選手初の4大会優勝に挑みます。対戦相手はセリーナ・ウィリアムズ（米国）。同オープンを過去6度制した強敵ですが、大坂は今年3月に4大会に次ぐ格付けの「BNPパリバオープン」を日本人として初制覇するなど急成長中だけに、期待は高まります。

また男子シングルスも錦織圭が7日（日本時間8日）の準決勝でノバク・ジョコビッチ（セルビア）に勝てば、9日（同10日）の決勝に進みます。

日本選手の活躍を現地からレポートします。

目指せクラブ日本一 全日本クラブ野球選手権

スポーツ面 10日（月）から4日間

社会人野球の第43回全日本クラブ野球選手権（毎日新聞社、日本野球連盟主催）が10日から4日間、埼玉・メットライフドームで行われます。全国の予選を勝ち抜いた16チームが出場、クラブ日本一を争います。

前回優勝の和歌山箕島球友会（和歌山）が連覇を果たすのか、同準優勝の大和高田クラブ（奈良）が雪辱を果たすのか。初出場の2チーム、ロキテクノクラブ（富山）とREVENGE 99（東京）、10年ぶり出場のNOMOクラブ（兵庫）の戦いも注目されます。

優勝チームは11月の日本選手権（京セラドーム大阪）の出場権を得られます。

「アリス」復活に往年のファン回帰

ラジオ離れは止まるか？

夕刊特集ワイド 10日(月)

スマートフォンの普及や若者のライフスタイルの変化で「ラジオ離れ」が進んでいます。その流れにあらがうように、最近はかつて人気を博したパーソナリティーが復活しています。

ワクワクしながらラジオのダイヤルを合わせた頃と同じようなトークで、往年のリスナーの回帰を促しています。「大人のラジオ番組」は、オールドメディアの救世主となるのでしょうか？

晴れ時々OFF 新鮮！ 生オーケストラで映画鑑賞

くらしナビ面 11日(火)

近ごろ、生演奏付きで映画をフル鑑賞する「シネマコンサート」を目にすることがあります。目の前にオーケストラがいるのに、果たして映画が楽しめるのでしょうか。音楽と映像のバランスはどうなのでしょう。

東京国際フォーラムで試したのが、あの「スター・ウォーズ」シリーズ。映画鑑賞歴三十数年、1200本以上を見てきた記者が足を運びました。

衣 ファッション 流行をボトムスに

くらしナビ面 11日(火)

ボルドーやマスタード、深いグリーン——。早くも秋冬ものが並ぶ店頭が、鮮やかに彩られてきました。今年はヒョウなどのアニマル柄も人気のようです。

そこでこの秋、落ち着いた色味と上質の素材を試してみたいかでしょうか。合わせる洋服は白や黒系にして、色の数を抑えるのがコツとか。これらの流行を大人が上手に取り入れる方法をご紹介します。

就活ルール廃止へ 大学生の本音

くらしナビ面 13日(木)

経団連の中西宏明会長が、会社説明会や面接の解禁時期などを定めた採用活動の指針を廃止する意向を表明しました。現在の大学2年生が対象になる2021年春入社採用から適用する方針です。しかし、就職活動の長期化への懸念から反発も予想されます。

「方針がころころ変わるのは困る」「勉強に身が入らなくなるのでは」——。大学生たちの本音を聞きました。

危機の教訓 リーマン・ショックから10年

経済面など 12日(水)

100年に1度の世界的な金融危機の引き金になった米証券大手リーマン・ブラザーズの経営破綻から5日で10年を迎えます。米国をはじめ、世界中の政府と中央銀行が危機の封じ込めに手段を尽くし、世界経済は回復しました。

この10年で金融危機の教訓はどう生かされたのでしょうか。世界の現場からのルポを交えて検証します。